

W I N G E S S A Y

DENTAL WING Co.,LTD

—2017年 10月号—

☆「暑さ寒さも、彼岸まで。」朝晩の涼しさは、初秋の訪れを告げてくれます。これから、いい季節に向かいますね。晴耕雨読という言葉がありますが、ピッタリの季節です。趣味の菜園も、じゃがいも、大根、にんにくなど芽吹きを待っています。作物を作っていると、陽射し、風、土など自然の中に季節の変わり目を感じることができます。週末の僅かな時間ですが、私にとってはある種無になれる有意義な時間です。確かに、面倒なことも沢山ありますが、そこは我慢して丁寧に手を加えます。例えば、大根なんて1mm程度の小さな粒です。大根十耕と言われ、とにかく大根を育てるためには、しっかり耕せという意味です。芽が出ますと、間引きを行い、土寄せを繰り返しながら成長を見守ります。店頭に並ぶものとは違って、無農薬ですので形も色も気にすることなく、美味しく戴けます。特に、大根の葉なんかは、ゴマ油でさっと炒めて最後にちょっと醤油を落として出来上がり。食が進む絶品だと思うのですが……。

☆さて、先々月から人口の問題を掲載させていただきましたが、どの業種にとっても大きな問題でもありますし、別の見方をすればどの業種にもこれらの時代に向けてのヒントにもなるかと思えます。歯科に関しても同じことが言えます。口腔疾患の変化、受診年齢の変化、歯科に対する意識の変化など総合的に見ていく必要があると思えます。

東京のマイボイスコムという会社が行ったインターネット調査があります。幾つかご紹介させていただきます。調査客体は、下記の通りです。

性別	男性	女性	合計	年代	10代	20代	30代	40代	50代以上	合計
度数	5,980	5,254	11,234	度数	50	534	1,566	3,033	6,051	11,234
%	53%	47%	100%	%	0%	5%	14%	27%	54%	100%

■口腔内のことで気になることは「虫歯」が4割弱、「口臭」「歯石、歯垢」「歯に食べ物がはさまりやすい」が各3割、「知覚過敏、しみる」「歯の着色」「歯ぐきがやせてきた、下がってきた」「歯並び」などが各2割強。

■口腔内の健康・美容のためにしていることは「歯科に通う」「歯磨きを丁寧にする」が各4~5割で上位2位。「歯周病・歯槽膿漏等の予防効果がある製品を使う」「歯垢除去効果がある製品を使う」「虫歯予防効果がある製品を使う」などが各10%台。

■歯科・美容歯科等での利用意向は「歯のクリーニング」が3割強、「ホワイトニング」が約15%、「歯列矯正」「インプラント」が各6%。利用経験は「歯のクリーニング」が4割弱、高年代層での比率が高い。

■口腔内のケアの使用製品は「歯ブラシ」が8割、「歯間ブラシ」「デンタルフロス、糸ようじ」「歯磨き粉：フッ素入り」「マウスウォッシュ、デンタルリンス」「電動歯ブラシ、音波歯ブラシ、超音波歯ブラシ」などが各20%台。「歯ブラシ」を持ち歩く人は2割弱で、女性20代での比率が高い。

いかがでしょう。患者さんへの様々なアプローチの工夫も大切なことですね。